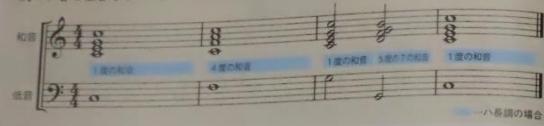


## 和音にふくまれる音を使って 旋律をつくりましょう。

4

### 和音の音で旋律づくり

次の和音と低音をきいて、ひびきの移り変わりを確かめましょう。



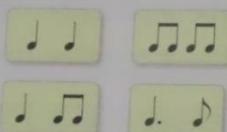
- ① 右ページの「和音にふくまれる音」の中から、「音の上がり下がりの例」を参考にしながら音を選んで旋律をつくり、ワークシートに書きましょう。

#### 音の上がり下がりの例



- ② 右ページの「旋律をつくるリズム」の2分音符のリズムを、「2分音符と同じ長さのリズムの例」を参考にしながら変えて、右のワークシートに書き、気に入った旋律に仕上げましょう。

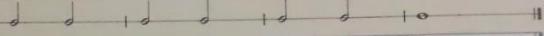
#### 2分音符と同じ長さのリズムの例



谱名で歌ったり、  
楽器で演奏したりして、  
気に入った旋律になっているか、  
確認しよう。

### ワークシート

#### 旋律をつくるリズム



和音に  
ふくまれる  
音

選んだ音

#### 選んだリズム



- ③ つくれた旋律を左ページの和音と低音に合わせて発表し、気付いたことや感じ取ったことを伝え合いましょう。

例1

音の高さがあまり変わらない  
旋律にしました。リズムは  
♪と♩だけを使いました。

おだやかな感じがします。

音の高さが下がっていく  
旋律にしました。

例2

高い♪から低い♩まで  
音が大きく動くので、  
のびやかな感じがします。

32







**曲想の変化を感じ取ろう**

**5 ハンガリー舞曲 第5番**

● 韻律のくり返しや変化に気を付けてきましょう。

この曲は、大きく分けて3つの部分からでています。下の①②③の玉な音律がオーケストラによって演奏されます。

ア → イ → ア

① 短調の部分

② 長調の部分

③ 長調の部分

● 指揮者の人たちが、曲想の移り変わりをどのように工夫して表現しているかに気を付けて、きき比べてみましょう。

小澤征爾 指揮

クラウディオ プリト 指揮

チョン ミヨンファン 指揮

● 音楽に合わせて、体を動かしたり指揮のまねをしたりしながら、速さや強さについて気付いたことや感じたことを話し合いましょう。

2 指揮の指揮の例

おさい 誰い

37















